

平成30年3月1日

上那賀中学校
保護者の皆様へ

上那賀中学校長 谷 浩 行

春の風が快い季節となつてまいりました。保護者の皆様方にはご健勝のことと存じます。日頃は本校教育活動に多大のご支援ご協力ありがとうございます。

さて、2月に保護者の皆様と生徒に対してアンケート調査を行い、上那賀中学校の教育活動に対する満足度を調査いたしました。集計結果をもとに、平成29年度の学校評価をまとめましたのでお知らせいたします。

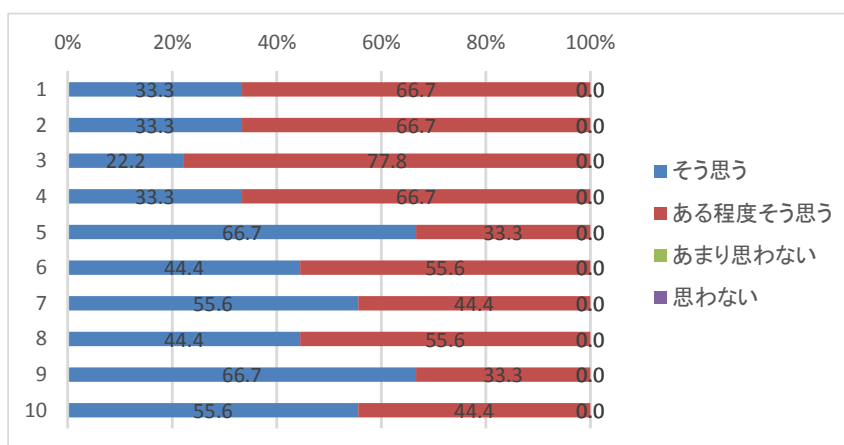
★ **調査内容** 次の10項目の質問に対して、次の4段階で回答をいただいた。

A そう思う B ある程度そう思う C あまり思わない D 思わない

- (1) 校風・伝統を生かして、特色ある学校づくりがされている。
- (2) 生徒や保護者・地域の方の要望を生かした学校行事が行われている。
- (3) 生徒の進路や興味・関心に配慮した授業がなされている。
- (4) 生徒の立場に立ったわかりやすい指導がされている。
- (5) 教職員は個々の生徒の生活や学習の様子について気配りし、適切に注意や指導ができています。
- (6) 一人一人に目を配り、いじめなどのない楽しい学級作りに配慮されている。
- (7) 生徒の能力・適正を生かすきめ細かい進路指導がされている。
- (8) 学校行事や部活動を通して、生徒が自主的に活動し、個性が発揮できるような指導がされている。
- (9) 生徒の健康・交通安全などに配慮された指導がされている。
- (10) 学校や学年の様子について、上中だよりや学級通信などの配布物やホームページで情報提供がなされている。

★ **調査結果**

A **保護者アンケート調査結果**



回収率 100%

全設問の肯定的回答と否定的回答の平均

A 45.6% B 54.4% C 0% D 0%

考察

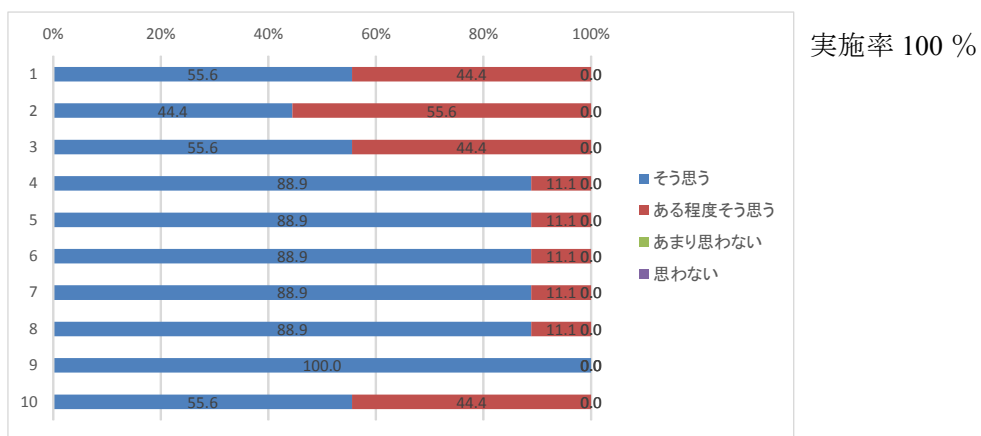
肯定率が全設問で、昨年度は94.7%であったが、今年度は100%を達成した。なかでも、設問5(個々の生徒への気配りや注意、指導)・設問7(細かい進路指導)・設問9(健康・交通安全などに配慮した指導)・設問10(学校や学年の様子についての情報提供)については、「Aそう思う」の割合が50%を超えており、特に満足度の高いことが伺える。

それに対して、設問1(校風・伝統を生かした特色ある学校づくり)・設問2(要望を生かした学校行事)・設問3(生徒の興味・関心に配慮した授業)・設問4(生徒の立場に立ったわかりやすい指導)については、「Aそう思う」の割合が20%~30%と比較的低率である。

今年度は校内研修において、1人が2回の研究授業を行うなど、教員一人一人の授業力の向上によるよく分かる授業づくりに努めてきたが、今後なお一層の研修と研鑽が必要だと考える。

B 生徒アンケート調査結果

生徒アンケートは保護者アンケートの質問事項を少し分かりやすく表現を変え実施した。



全設問の肯定的回答と否定的回答の平均

A 75.6% B 24.4% C 0% D 0%

考察

保護者アンケートと同様に肯定率が全設問で、昨年度は90%であったが、今年度は100%を達成した。なかでも、設問9（健康・交通安全などに配慮された指導）は達成率が100%であり、全員が「A そう思う」と回答している。他にも、設問4（生徒の立場に立ったわかりやすい指導）・設問5（生活や学習への気配りと適切な注意や指導）・設問6（いじめなどのない楽しい学級づくり）・設問7（きめ細かい進路指導）・設問8（生徒の自主性や個性が発揮できるような指導）では、達成率が88.9%と高く、生徒の教育活動に対する満足度は総じて高いと言える。設問4（生徒の立場に立ったわかりやすい指導）については、保護者の「A そう思う」は33.3%と低かったが、「A そう思う」と答えた生徒は88.9%で、保護者と生徒の捉え方には差がある。毎日直接授業を受けている生徒の回答からはよく分かる授業づくりに日頃から取り組んできた成果を感じることができる。

3年生だけで9名の極小規模校である本校の特色を前向きに捉え、少人数の強みを生かした教育活動を積極的に推進してきたことによって、生徒の満足度も高まったものと考えられる。少人数であることによる深く温かい生徒相互の人間関係と生徒と教師の人間関係を基盤に、上那賀中学校最後の生徒であるという生徒自身が確かな自覚をもって取り組んだことにより、意義ある教育活動ができた1年であったと考える。

様々な教育活動における多様な学習・経験により、この1年間の生徒の成長には目を見張るものがあった。上那賀中学校最後の生徒として、一人一人が主体者として、誇りをもって取り組んだこの経験を高校生活をはじめとするこれからの生活に生かしてほしい。

★ 教職員による学校評価より

教職員は1学期末・2学期末に詳しく自己評価を実施している。それをもとに、問題点を洗い出し、考察を重ね、次の学期により良い方向へと取組を行ってきた。特に次の項目について共通理解を図り取り組んできた。

- (1) 少人数の強みを積極的に生かした教育活動の推進
- (2) 学習意欲を高め、個々の教育的ニーズに応じたわかりやすい授業の実施
- (3) 家庭学習の定着を図るための手立て
- (4) 人権の視点に立った教育活動の実施

★ 総括・おわりに

先述したとおり、保護者（100%）・生徒（100%）と全設問に対して肯定的な評価が高く、平成29年度の上那賀中学校としての教育活動に成果があったと考えられる。家庭・地域・関係機関の協力を得て、少人数の子どもたち一人一人を生かし、「地域とともに歩む学校」をめざして、取り組んできたことが成果として表れたのではないだろうか。

我々教職員は上那賀中学校閉校後は、それぞれが新しい任地において勤めていくことになるが、上那賀中学校で学び、経験したことをもとに、これから出会う子ども達のために真摯に実践を積み重ね

ていきたい。